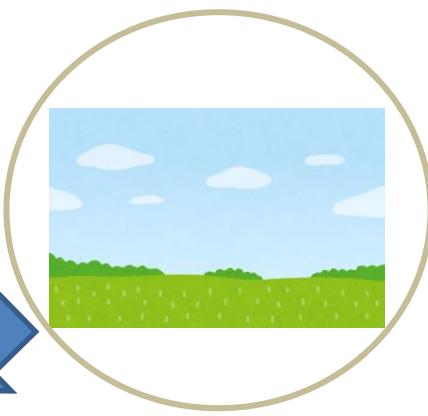


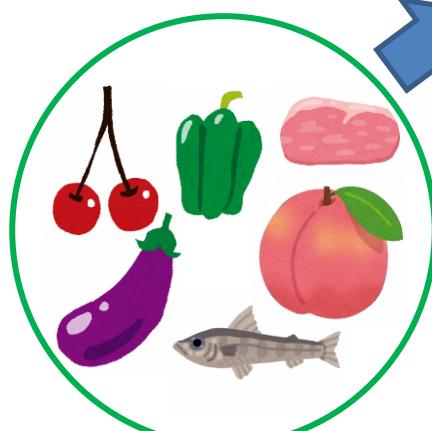
自然の中にある放射線ってどこから来るの？



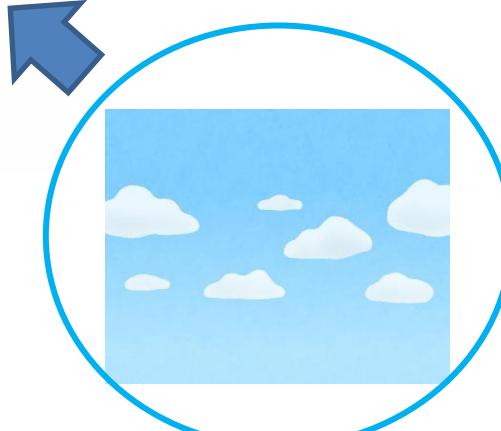
宇宙から年間 0.8mSv



大地から年間 0.33mSv



食べ物から年間 0.99mSv



空気中から年間 0.48mSv

知つていませんか？
身の回りにある放射線について

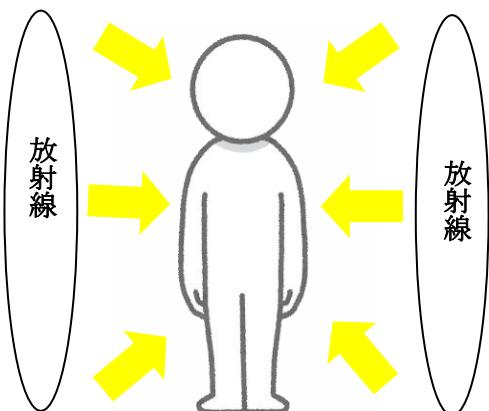
私たちは、普段から、知らず知らずのうちに身の回りにあるさまざまな放射線を受けて生活しています。放射線は、もともと自然界に存在していて、原子力発電所や病院などの施設だけに存在するものではありません。私たちは、宇宙そして大地から受ける自然放射線や、食物や空気中のラドンなど、自然由来の放射性物質から受ける放射線は、合計すると日本平均では年間で 2.1mSvになります。（世界平均では、年間で 2.4mSvです）

放射線は私たちの体にどのような影響を与えるの？

私たちは、普段から身の回りの放射線を受けて生活していますが、放射線による影響は、「外部被ばく」と「内部被ばく」の2つの種類があります。

外部被ばく

宇宙や大地などの自然放射線や、病院の検査などの人工放射線により体の外から影響を受けることを「外部被ばく」と言います。



外部被ばくを調べる測定器



【ガラスバッジ】
市では1年間に4回、無料でガラスバッジを貸し出し、3か月間の被ばく線量を測定しております。

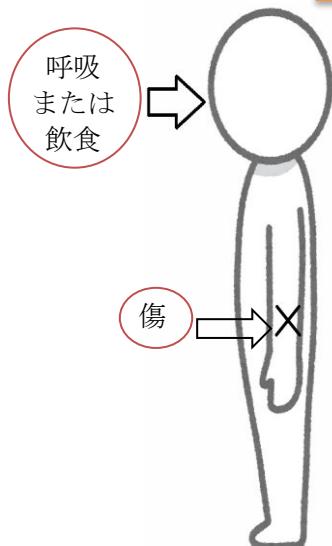


【Dシャトル】

市では無料でDシャトルを貸し出し、1か月程度の被ばく線量を測定し1時間ごとの放射線量を知ることができます。

内部被ばく

呼吸や飲食によって放射性物質を体内に取り込んだり、皮膚に付着した放射性物質が傷口から、体の中に取り込まれた放射線によって体の内側から影響を受けることを「内部被ばく」と言います。



内部被ばくを調べる測定器



【ホールボディカウンター】

ホールボディカウンターという装置を用いて体の中に入っている放射性物質の量を調べることができます。胸部及び胃部レントゲンやCT検査とは異なり、体内の放射性物質を特殊な機械で計測するため、装置から放射線を受けることはありません。

【ガラスバッジ及びDシャトル・ホールボディカウンターのお申し込み先・お問い合わせ先】

南相馬市小高区小高字金谷前84 小高保健福祉センター内

健康づくり課放射線健康係（☎44-2121）